

### 第4回定例会の主な日程

令和6年第4回定例会は、左記の会期日程で開催されました。

11月29日(金)	本会議	(開会、知事提出議案説明)
12月4日(水)	本会議	
5日(木)	本会議	
6日(金)	(一般質問・質疑)	
12月10日(火)	常任委員会	
12月12日(木)	交通政策・物流問題調査特別委員会	
12月16日(月)	本会議	(委員長報告、採決、閉会)

### 一般質問(要旨)

#### ●質問者

12月4日(水)	黒部 博英 議員 (いばらき自民党)
秋 嘉一 議員 (無所属)	
小泉 周司 議員 (いばらき自民党)	
12月5日(木)	小松崎 敏紀 議員 (いばらき自民党)
設楽 詠美子 議員 (立憲いばらき)	
磯崎 達也 議員 (いばらき自民党)	
12月6日(金)	金子 晃久 議員 (いばらき自民党)
瀬谷 幸伸 議員 (いばらき自民党)	
鈴木 将 議員 (いばらき自民党)	

こちらから録画映像でご覧になれます。▶  
[https://ibaraki-pref.stream.jfit.co.jp/?tpl=gikai\\_result&gikai\\_id=170](https://ibaraki-pref.stream.jfit.co.jp/?tpl=gikai_result&gikai_id=170)



秋 嘉一 議員 所属 出  
無 所 市 選

#### 看護職員の確保

議員 多様化する看護ニーズなどに対応するため、看護職員の確保が必要と考える。さらなる対策は、保健医療部長 県立中央看護専門学校看護学科を2026年度から県内初の4年制に移行し、教育内容の充実を図っていく。また、診療報酬上乘せや賃上げ税制の活用などにより、処遇改善に努めるよう医療機関に働き掛けていくほか、病院内保育所の運営費補助や定着促進コーディネートターの派遣により環境の整備を促進していく。

#### 部活動の地域移行

議員 地域移行に関する地域からの不安の声に耳を傾け、支援や助言をお願いしたい。今後の対応は、教育長 具体的な事例を各市町村に共有することで課題に対応していく。また、県に配置する総括コーディネーターを中心とした市町村訪問により、情報交換や助言などの支援を行い、県が設置した地域移行推進会議で検証し、具体的な成果や課題を令和7年2月のシンポジウムで情報発信していく。  
(ほかに、建設業の担い手確保・育成、施設園芸農家への支援策なども質問)



県立中央看護専門学校(笠間市)



小松崎 敏紀 議員 所属 出  
いばらき自民党 鹿嶋市 選

#### 児童虐待への対応

議員 辛く苦しい思いをしている子どもたちが一刻も早く、一人でも多く救われることを願ってやまない。虐待の通報に対して、より迅速に対応するための方策は、福祉部長 全国に先駆けて警察と全ての虐待情報を共有する体制を整えたほか、児童相談所の組織体制の見直しや専門職員の増員など、子どもの安全を迅速に確保するための体制強化を図ってきた。また、虐待事案発生時は、関係機関との緊密な連携により対応している。

#### 産業技術専門学院の在り方

議員 「県立産業技術専門学院のあり方検討会」の検討結果を受けて、県は5学院の今後の方向性をどう考えているのか。  
産業戦略部長 同検討会から、離職者や女性など入学ターゲットの拡大、在職者訓練の拡充などの機能強化の方向性や、2学院体制への再編の必要性について提言があった。今後、提言の内容を踏まえ、関係者と丁寧に協議を重ねながら方針を決定していきたい。  
(ほかに、救急搬送時間の改善、工業高校の今後の展望なども質問)



土浦産業技術専門学院での実習風景



黒部 博英 議員 所属 出  
いばらき自民党 常陸大宮市 選

#### 県北地域における定住人口及び交流人口の拡大

議員 県北地域は、人口減少・高齢化が他の地域に先駆けて進行している。将来を見据えた定住人口や交流人口の拡大について、県はどう取り組んでいくのか。

知事 地域特性を生かした産業の振興とともに、起業・複業型地域おこし協力隊の誘致や、常陸国ロングトレイル、御前山ダムなどの地域資源を活用した誘客促進の取り組みを通じて、地域の活力を創出し、市町なども連携しながら、定住人口・交流人口の拡大を図る。

#### 水郡線の活性化

議員 全線開通90周年を迎えた水郡線であるが、利用者は減少傾向にある。県北地域の重要な交通インフラである水郡線の存続に向けた利用促進の取り組みは、政策企画部長 定期券利用者が割引を受けられる店舗の拡大やパークアンドライドの推進、観光資源など沿線の魅力を生かし、通勤客や観光客の利用拡大を図っていく。また、沿線地域のマイルール意識の醸成にも取り組んでいく。

(ほかに、ゴルフツアーの推進、空き家対策なども質問)



水郡線全線開通90周年記念セレモニー



小泉 周司 議員 所属 出  
いばらき自民党 那珂市 選

#### 不妊治療における助成事業から医療保険適用への移行の検証や今後の取組

議員 不妊治療への支援が従来の助成事業から保険適用へ移行されたことにより、新たに自己負担を強いられる方がいる。この方への助成事業をどう進めるのか。

福祉部長 国の会議で、従来の助成事業は自己負担をなくすことではなく、高額な治療費の軽減を図ることを目的として実施してきた経緯などが議論された上で、保険適用が開始された。今後、保険適用範囲の拡大などについて、引き続き国に強く要望をしていく。



不妊治療の相談

#### 県管理道路における除草の課題と今後の新たな取組

議員 近年、県民からの問い合わせが多く、十分な道路除草ができているが、新たな取り組みは、土木部長 防草シートなどによる除草面積の縮減のほか、住民協働の維持管理として住民参加型の活動の啓発や道路ボランティア団体の増加に努める。また、現場状況に応じた新工法を選定し、その有効性や経済性を検証の上、省力化施工機械や新技術の活用を図る。

(ほかに、県植物園等のリニューアルの詳細、公立学校教員の人材確保に向けた取組なども質問)



設楽 詠美子 議員 所属 出  
立憲いばらき 西 市 選

#### 命を守るための医師の地域偏在の解消

議員 医師の地域偏在をどのようにして解消しようとしているのか。

知事 地域枠などの修学資金貸与制度により、医師不足地域で勤務する医師を養成している。今年度の地域枠の定員は全国トップクラスの11大学70名であり、来年度の入学者からは医師不足地域での義務履行を臨床研修後に限定した。また、救急や小児などの政策医療の提供体制が維持されるよう、各地域の中核的な役割を担う医療機関の医師確保に取り組んでいる。

(ほかに、多様な学びの場、居場所の確保、オーガニック学校給食を実現するための有機栽培農業者の育成なども質問)



医師の地域偏在の状況  
赤: 医師多数区域 青: 医師少数区域